

# 年末年始無災害運動

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取組みを見直すことが大事です。

これまでとは異なる「新しい生活様式」の下で安全かつ健康に働くことのできる職場環境、体制を早急に整備することが重要です。1つ1つの作業を丁寧に確認し、次に備えること。そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切です。

昨年度から引き続き感染症対策を講じながら迎える年末年始、慌ただしい中での大掃除や重機の整備、道具の点検の作業が多くなる他、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。各事業場においては、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの確認、保護具の点検、感染予防を含めた労働者の健康状態の確認などに、全員で取り組むことが一層重要になってきます。皆で力を合わせて無事に1年を締めくくり、明るい新年を迎えられるよう、安全・健康への思いを新たにしていましましょう。

令和3年度 年末年始無災害運動標語

「年末年始も 安全作業 あなたが無事故の キーパーソン」

主唱 中央労働災害防止協会 後援 厚生労働省

# 依田林業新聞

発行所

(有) 依田林業  
塩山事務所  
総務部

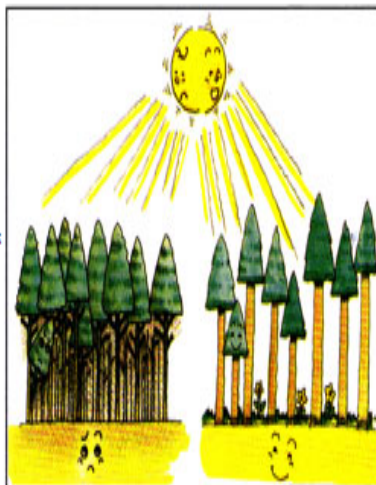
# 冬の枝打ち注意事項

## 【枝打ちとは】

枝打ちとは、節の無い良質材の生産を主目的として、ある高さまでの生き枝を、その付け根付近から除去する作業です。

枝打ちは、樹冠(枝葉部分)量を調整することによって幹の成長を制御することができます。間伐は生育空間を調整することによってやはり幹の成長を制御できます。したがって、枝打ちは間伐と組み合わせることによってより大きな効果を発揮することができます。

枝打ちは間伐とともに林内の光環境を改善し、下層植生の欠乏を防ぐなど森林の健全性にプラスになります。さらに枝打ちはスギノアカネトラカミキリやスギザイノタマバエなどによる幹の被害を防ぐ効果もあります。



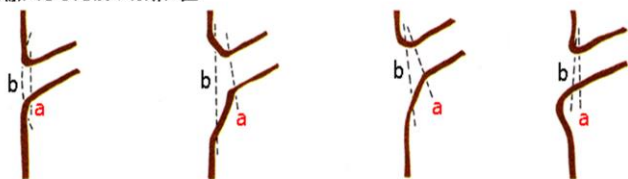
心に響く一言  
失敗をする怖さより、  
失敗から何も学ばずにベストを  
尽くせない方が怖いこと

## 【枝打ち方法】

枝打ち作業にあたっては、幹に傷をつけないように注意します。幹に傷がつくとそこから内側に変色が生じて、材の価値を下げてしまいます。

枝を切る位置は、下図のaの所です。bの所を切ると幹に傷がついて変色が生じますので注意しましょう。また、枝が太い場合は、先に枝の下側に切り込みを付け、次に上側から切り落とします。枝の先に葉が茂って重い場合は、皮が裂ける危険があるためまず幹から離れたところで切り落とし、改めてaの所で切るか、枝を支えて枝打ちをしてください。

## 目標に応じた枝の切断位置



A: 素直な枝 B: 枝隆の発達した枝 C: 成長の旺盛な枝 D: 成長の低下または枯死した枝

枝の切断位置

- a: 変色を避け、かつ残枝長を小さくするのに適
- b: 変色は発生しても残枝長を極力小さくするのに適

## 枝打ち作業の手順と注意点

- 作業服の袖、ズボンの裾は、ボタンや金具でしっかり止めておくこと。
- 枝打ち作業は寒い時期が多いので体の動きが鈍くなっている。仕事始めに軽い体操をして身体をほぐしておくとともにそれに続く作業に身体が馴染みやすい。
- 木の大きさにあった長さの梯子を使用すると作業もしやすく安全の確保にもつながる。
- 梯子の子(段)は斧の背で軽く叩いてみて鈍い音がするようでは弱ってきているので早めに取り替える。
- 梯子の足に取り付けた金具はしっかりと地中に差し込み梯子が回らないようにする。
- 石や岩の所は梯子の足の爪が馴染みにくいのでよく注意して差し込み、危ないと思った時は梯子を枝打ちしようとする木にロープで縛り付ける。
- 長い梯子(4mを超えるような)を使う時や風の強い日はロープで縛って安全を確保する。
- 梯子を1~2段上がったところで横揺れしたり梯子が回ったりしないか確かめる。